

市町村名	久米島町
------	------

平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1 - 海洋深層水冷熱利用野菜栽培実証事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-キ
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24～26年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(6)

事業内容
久米島の地域資源である海洋深層水の冷熱利用により、既に確立された夏場の野菜栽培技術の商用化に向けた実証実験を行うため、冷熱利用野菜栽培ハウスの整備を行った。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a)当初予算額	8,700	-			
	(b)予算現額	8,700	-			
	(c)増減額(b-a)	0	-			
	(d)繰越額	-	8,700			
	A.計(b+d)	8,700	8,700			
	B.執行済額	0	2,549			
	うち交付金充当額	0	2,039			
	次年度繰越額	8,700	-			
	執行率(%) (B/A)	0.0%	29.3%			
	予算の状況の説明	・施設設置場所の選定に不測の時間を要したため、8,700千円を次年度に繰り越した。 ・不要額が6,151千円は、当初業務委託を予定していた施設の選定、栽培品目及び栽培システム等の調査事業を自前で実施したため、執行率が低下した。 ・計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成目標を鑑みて適正であったと考えられる。				

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		施設整備及び運営計画の策定 (施設設置場所の選定、栽培品目の選定、栽培システムの選定)	目標	施設整備及び運営計画の策定	()	()
	実績	施設整備計画及び運営計画の策定				
	目標	()	()	()	()	()
	実績					
達成状況説明	施設設置場所の選定、施設の構造、規模、栽培システムの選定を行い、運営計画の策定及び施設設計を実施した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
		目標	()	施設整備及び運営計画の策定	()	()	()
		実績		施設整備及び運営計画の策定			
		[参考指標]	目標	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	施設の選定、栽培品目及び栽培システム等の調査事業は自前で実施し事業内容を一部変更したが、当初予定していた成果目標は達成できた。						

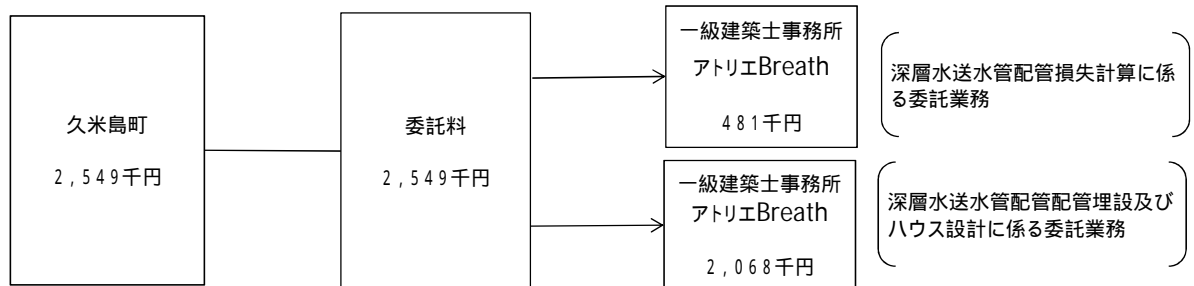
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	設置場所の選定に時間がかかり、冷熱利用野菜栽培ハウス整備及び実証実験の開始時期が遅れた。	栽培システムを構築し生産コストを検証することにより、実用化に繋げる。

今後の取り組み方針

冷熱利用野菜栽培ハウスの整備を早期に実施し、実証実験で得られた課題を検証し、商用化に向け取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,549	2,549	2,039	510	0



資金の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託業者1件は、少額契約のため随意契約で、1件は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 - モズク加工場機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ 農林水産業の振興		
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(6)		
事業内容	本町水産業の主要品目であるモズクの加工施設の強化を図り、水産業の安定経営に繋げるため、既存加工施設加工ラインの強化に必要な圧送真空ポンプや梱包機等の整備を行う団体へ支援した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	18,711	-			
		(b)予算現額	18,651	-			
		(c)増減額(b-a)	60	-			
		(d)繰越額	-	5,894			
		A.計(b+d)	18,651	5,894			
	B.執行済額		12,757	5,894			
	うち交付金充当額		10,206	4,714			
	次年度繰越額		5,894	-			
	執行率(%) (B/A)		68.4%	100.0%			
予算の状況の説明		・圧送真空ポンプを2台追加し事業効果の早期発現を図る必要が生じたため、購入に係る5,894千円を次年度に繰り越した。 ・計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成目標を鑑みて適正であったと考えられる。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	ホークリフト車の整備 2台	目標	(2台)	()	()	()	
		実績	2台				
	自動梱包器の整備 3台	目標	(3台)	()	()	()	
		実績	3台				
	モーターコンプレッサー及びレシーバータンクの整備 一式	目標	(コンプレッサー1台 レシーバータンク1台)	()	()	()	
		実績	コンプレッサー1台 レシーバータンク1台				
	圧送真空ポンプの整備 4台	目標	(4台)	()	()	()	
		実績	4台				
達成状況説明	ホークリフト車2台、自動梱包器3台、モーターコンプレッサー1台、レシーバータンク1台、圧送真空ポンプ4台を整備した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	ホークリフト車の整備 2台	目標	()	(2台)	()	()	()
		実績		2台			
	自動梱包器の整備 3台	目標	()	(3台)	()	()	()
		実績		3台			
	モーターコンプレッサー及びレシーバータンクの整備 一式	目標	()	(コンプレッサー1台 レシーバータンク1台)	()	()	()
		実績		コンプレッサー1台 レシーバータンク1台			
	圧送真空ポンプの整備 4台	目標	()	(4台)	()	()	()
		実績		4台			
	進捗状況説明	・モズクの水揚げに対応できる加工施設の整備を実施したことにより、処理能力が強化された。					

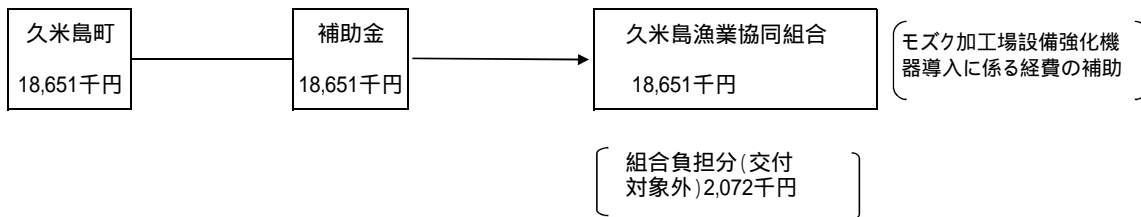
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	今回の設備導入により、処理能力が向上し出荷体制が強化された。	高品質の久米島のモズク等について、市場にPRし、販路拡大に取り組む必要がある。

今後の取り組み方針

今後は、漁協を中心に主要な市場に販売促進活動を実施し、モズクの販路拡大を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
20,723	18,651	14,920	3,731	2,072



資金の流 れ、費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 - 東西交流推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(12)-工		
担当部課名	プロジェクト推進室	事業実施(予定)年度	平成24～25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	離島を支える多様な人材の育成 -3-(1)	
事業内容	海洋深層水関連商品の諸外国への販路開拓を見据え、計画的な貿易に関する研修会等を実施するため、交流候補地であるハワイ州及び中国福州の現地基礎調査及び国際化人材育成計画書(仮称)の策定を行った。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況 (a)当初予算額 (b)予算現額 (c)増減額(b-a) (d)繰越額 A.計(b+d)		4,350	-			
			4,350	-			
			0	-			
			-	2,832			
			4,350	2,832			
	B.執行済額		1,518	1,054			
	うち交付金充当額		1,214	844			
	次年度繰越額		2,832	-			
	執行率(%) (B/A)		34.9%	37.2%			
予算の状況の説明		・人材育成計画策定は中国福建省、香港等の調査を予定していたが日中情勢悪化により調査が困難となったため、策定内容を変更する必要が生じたため、1,518千円を次年度に繰り越した。 ・不要額1,778千円は、事業経費を見直したことによる委託料の減額である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	国際化人材育成計画書の策定	目標	(計画策定)	()	()	()	
		実績	計画策定				
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	販路開拓人材育成計画基本構想及び実施計画を策定した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
	国際化人材育成計画書の策定	目標	()	(計画策定)	()	()	(6)
		実績		計画策定			
	[参考指標]		目標	()	()	()	(6)
		実績					
進捗状況説明	策定した計画に基づき、企業、学校(高等学校、中学校)と調整を図り、研修を実施し人材育成を図る必要がある。						

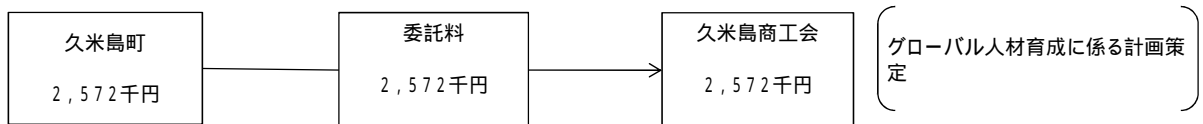
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	持続した経済発展を図るため、地元産品の海外展開を担う人材を育成するため、継続的に米国、中国等に派遣を行う必要がある。特に中国に関しては政治的な要因から、計画実施に不安定要素がある。	米国ハワイ州については、郡政府、民間団体と定期的な交流を図りながら語学研修など取り組む必要がある。中国に関しては民間レベルで、交流を推進できないか検討を行う。

今後の取り組み方針

中国の経済規模は米国を凌駕する勢いで伸びており、市場の魅力は依然として高く、可能性がある限り、交流推進を図りながら東西調和のとれたグローバル人材を育成する必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
2,572	2,572	2,058	514	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は特殊な業務内容であったため随意契約であったが、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4 - 地域発信力強化促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(12)-ア		
	担当部課名	プロジェクト推進室	事業実施(予定)年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 -1-(1)	
事業内容	新たな久米島の魅力等を効果的に発信する地域の情報発信力の強化を図るため、島内各集落に古くから伝わる芸能及び諸行事のコンテンツ制作及び地域FM放送局を活用した情報発信システムの整備を行った。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	13,500	-			
		(b)予算現額	13,500	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	-	13,500			
		A.計(b+d)	13,500	13,500			
	B.執行済額		0	9,113			
	うち交付金充当額		0	7,290			
	次年度繰越額		13,500	-			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	67.5%			
予算の状況の説明		・使用機材の変更調整に不測の日数を要したため、13,500千円を次年度に繰り越した。 ・不要額が4,387千円発生しているが、備品購入の入札残及びコンテンツ映像購入を見送ったことによる減額である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	FMラジオ放送サテライト局の設置 1箇所	目標	(1箇所)				
		実績	1箇所				
	移動放送車(通信機材車)の整備 1台	目標	(1台)				
		実績	1台				
	コンテンツ映像の作成 1式	目標	(1式)				
実績		-					
達成状況説明	・移動放送車1台及び放送機材一式を購入してサテライトスタジオを設置した。 ・コンテンツ映像制作については、他事業で導入することになり実施を見送った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	FMラジオ放送サテライト局の設置 1箇所	目標	()	(1箇所)	()	()	()
		実績		1箇所			
	移動放送車(通信機材車)の整備 1台	目標	()	(1台)	()	()	()
		実績		1台			
	コンテンツ映像の作成 1式	目標	()	(一式)	()	()	()
		実績		-			
進捗状況説明	放送機材一式を購入してFMラジオ放送サテライト局を設置したことにより、スタジオから観光及びイベント情報等を効果的に放送配信する。 コンテンツ映像については観光担当課、博物館が実施する事業で対応できるため実施を見送った。						

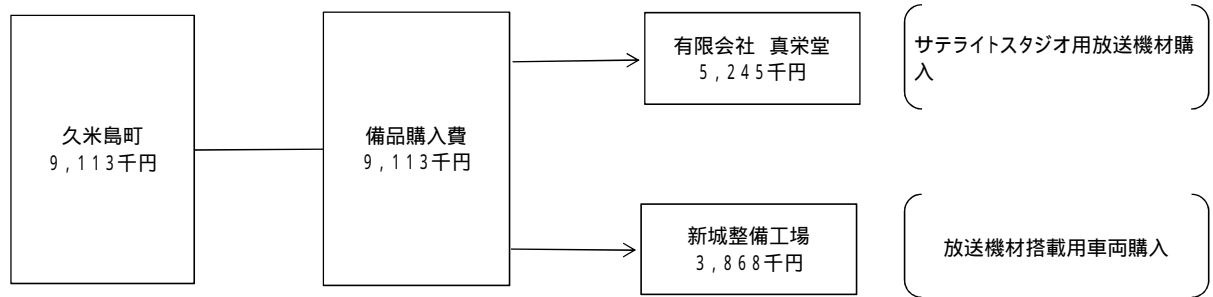
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	コンテンツ映像については他課部署で類似事業が計画されているため、本事業での実施を取りやめた。	他課で実施予定のコンテンツ映像は芸能、観光などさまざまな分野を網羅しており、FM局などの各組織の連携を図り効率且つ効果的な情報発信を行っていく必要がある。

今後の取り組み方針

情報発信には放送やホームページ、フェイスブックなど様々な手法がある。
 情報発信は町以外に観光協会など、複数の団体が重複した情報を発信するなど、見る側を混乱させる場合があるため、今後は町が中心となり全体的な出入口(ポータルサイト)を作成し、より効率的且つ効果的な情報発信を行う必要がある。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
9,113	9,113	7,290	1,823	0



資金の流 れ、費 目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	備品購入業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		久米島町					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4 -	バーデハウス久米島健康増進システム整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(3)-イ	
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(1)	
事業内容	本町を訪れる観光客に対し魅力あるウェルネスリゾートを提供し観光誘客の促進を図るため、水中マッサージや水中運動等の健康増進プログラムを提供しているバーデハウス久米島の健康管理システムの整備を実施した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	(a)当初予算額	21,426	-				
	(b)予算現額	23,613	-				
	(c)増減額(b-a)	2,187	-				
	(d)繰越額	-	23,613				
	A.計(b+d)	23,613	23,613				
	B.執行済額	0	23,613				
	うち交付金充当額	0	18,890				
	次年度繰越額	23,613	-				
	執行率(%) (B/A)	0.0%	100.0%				
予算の状況の説明	・使用機器の選定調整で不測の日数を要したため、23,613千円を次年度に繰り越した。 ・システム変更に伴う機器設置や配線工事費等の見直しにより当初予算から委託料を2,187千円を増額補正した。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	健康管理システムの整備	目標	(システム整備)	()	()	()	()
		実績	システム整備				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	健康管理システムにかかるソフトウェア・ハードウェアの整備を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	健康管理システムの整備	目標	(-)	(システム整備)	()	()	()
		実績		システム整備			
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	各システム(運動支援・課金・予約等)が個々に構築されている現状から、各システムを統一データの一元化管理が行えることにより、顧客管理の効率化が図られ、目標を達成することができた。					

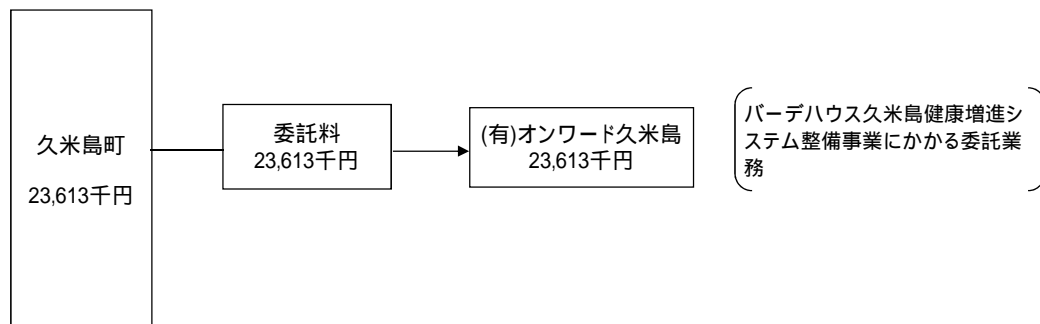
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	各システムを統一一元化管理が出来たことにより利用者のデータが集積ができるようになった。現状では、中高年以上の利用者が多い傾向となっているため健康管理のチェック項目などを増やし、利用者の満足度を向上させる必要がある。	利用者がそれぞれの年齢層や健康増進目的に合ったプログラムメニューが選択でき、運動・温浴効果が測定ができるプログラムが増やせば施設の利活用も向上する。

今後の取り組み方針

利用者のデータ集積、動向により、利用客のニーズに合わせたプログラムメニューや独自のサービスを充実させ、観光誘客を促進し利用者の増加を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

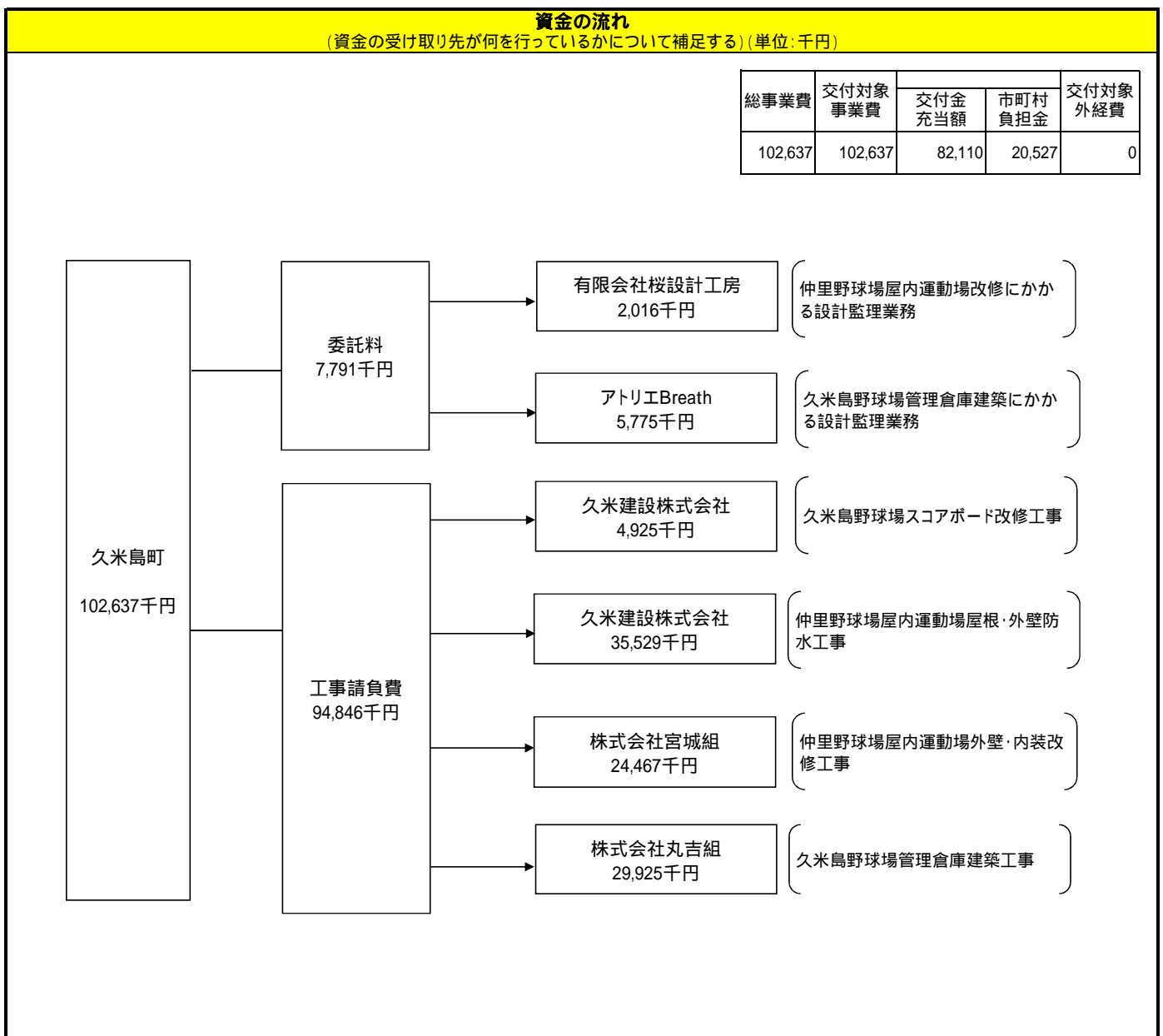
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
23,613	23,613	18,890	4,723	0



資金の流 れ、費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		久米島町					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4 - スポーツコンベンション施設機能強化事業		沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(1)-イ		
	担当部課名	環境保全課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(1)	
事業内容	プロスポーツ等のキャンプ誘致を促進し観光産業の振興を図るため、現在、受入施設として使用している、久米島野球場及び仲里野球場関連施設(屋内運動場の改修、管理倉庫、スコアボードの改修)の整備を実施した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	114,900	-			
		(b)予算現額	114,900	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	-	91,478			
	A.計(b+d)		114,900	91,478			
	B.執行済額		23,422	79,215			
	うち交付金充当額		18,737	63,373			
	次年度繰越額		91,478	-			
	執行率(%) (B/A)		20.4%	86.6%			
予算の状況の説明		・工事発注の諸手続に時間を要したため、91,478千円を次年度に繰り越した。 ・不要額12,263千円は、事業計画の見直しにより久米島野球場駐車場整備を取り止めたことによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	久米島野球場及び仲里野球場関連施設の屋内運動場の改修、駐車場等の改修	目標	(工事5件 委託3件)	()	()	()	
		実績	工事4件 委託2件				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	久米島野球場関連施設整備2件(スコアボード改修、管理倉庫建築)、仲里野球場関連施設整備2件(屋内運動場屋根・外壁防水、屋根・外壁改修)の工事を実施した。 久米島野球場駐車場整備は利用向上が見込めなかったため整備を見送った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	久米島野球場及び仲里野球場関連施設の屋内運動場の改修、駐車場等の改修	目標	()	(工事5件 委託3件)	()	()	()
		実績		工事4件 委託2件			
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	久米島野球場及び仲里野球場の施設が充実したことにより、受け入れ体制の強化につながった。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	今回の施設整備により施設が充実したことで、スポーツキャンプやイベントの誘致活動を実施する必要がある。	年間をとおして施設が利用されるよう他施設との連携やイベント・行事等でのPRが必要である。
	今後の取り組み方針	
久米島野球場・仲里野球場をスポーツコンベンションの拠点施設とし、スポーツを通じた交流を推進するほか、受け入れ体制の強化に取り組む。		



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	工事業者及び委託業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町
------	------

平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4 - 観光関連施設循環促進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 -1-(1)

事業内容
本町を訪れる観光客の利便性の向上を図るため、点在する島内観光関連施設を連結循環するコミュニティバスを導入した。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	4,777	-		
(b)予算現額	4,777	-				
(c)増減額(b-a)	0	-				
(d)繰越額	-		4,777			
A.計(b+d)	4,777	4,777				
B.執行済額	0	4,777				
うち交付金充当額	0	3,822				
次年度繰越額	4,777	-				
執行率(%) (B/A)	0.0%	100.0%				
予算の状況の説明	・循環バスの運行形態について、有償・無償の決定に関係機関(国・県)との調整に不測の日数を要したため、備品購入に係る4,777千円を次年度に繰り越した。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
観光関連施設循環バスの導入	目標	(バス導入)	(-)	()	()
	実績	バス導入	-		
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	・点在する観光関連施設を連結循環するコミュニティバスを導入した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			観光関連施設循環バスの導入	目標	(-)	(バスの導入)
	実績		バスの導入	-		
[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
	実績					
進捗状況説明	観光客の利便性が図られたことにより、観光地としての魅力向上につながった。					

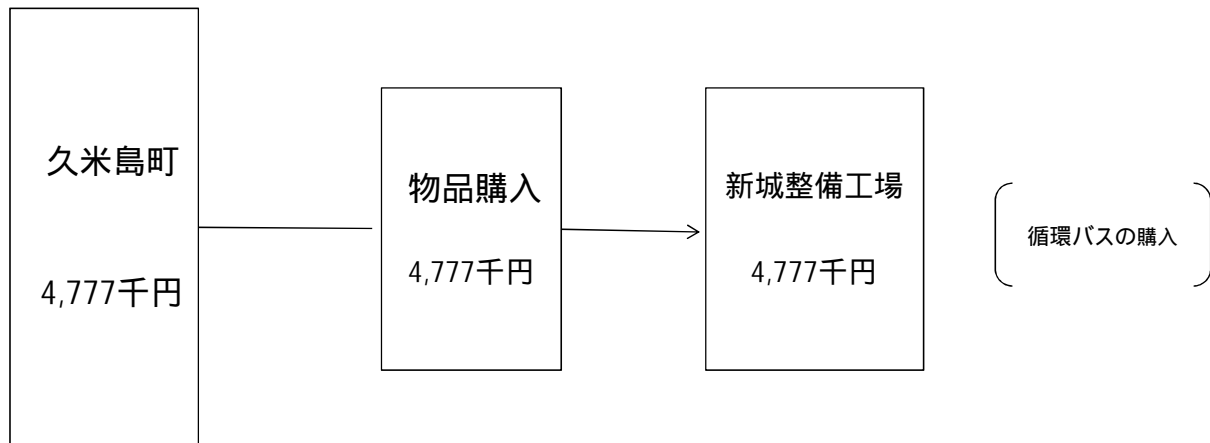
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	循環ルートについては、島内リゾートホテル等と観光施設を定期的に運行している。年間の運行や利用者数、観光施設の利用者数、利用形態(時間、天気、年齢層)などを分析し運行する必要がある。	観光客利用者のニーズに応える為、施設の利用状況などを勘案し、循環ルートを検討する必要がある。また、利用者へ運行内容等の周知を行うことで利用者の利便向上を図る必要がある。

今後の取り組み方針

島内の公共交通は便が少ない為バスの運行を継続し、来島された観光客がフリーの時間又は悪天候等により海に行けなくなった時間等を利用して、気軽にそれぞれの観光施設に行けるようなシステム(ダイヤ)を構築し、観光地としての利便性及び快適性を高めていく必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,777	4,777	3,822	955	0



資金の流 れ、費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	備品購入業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

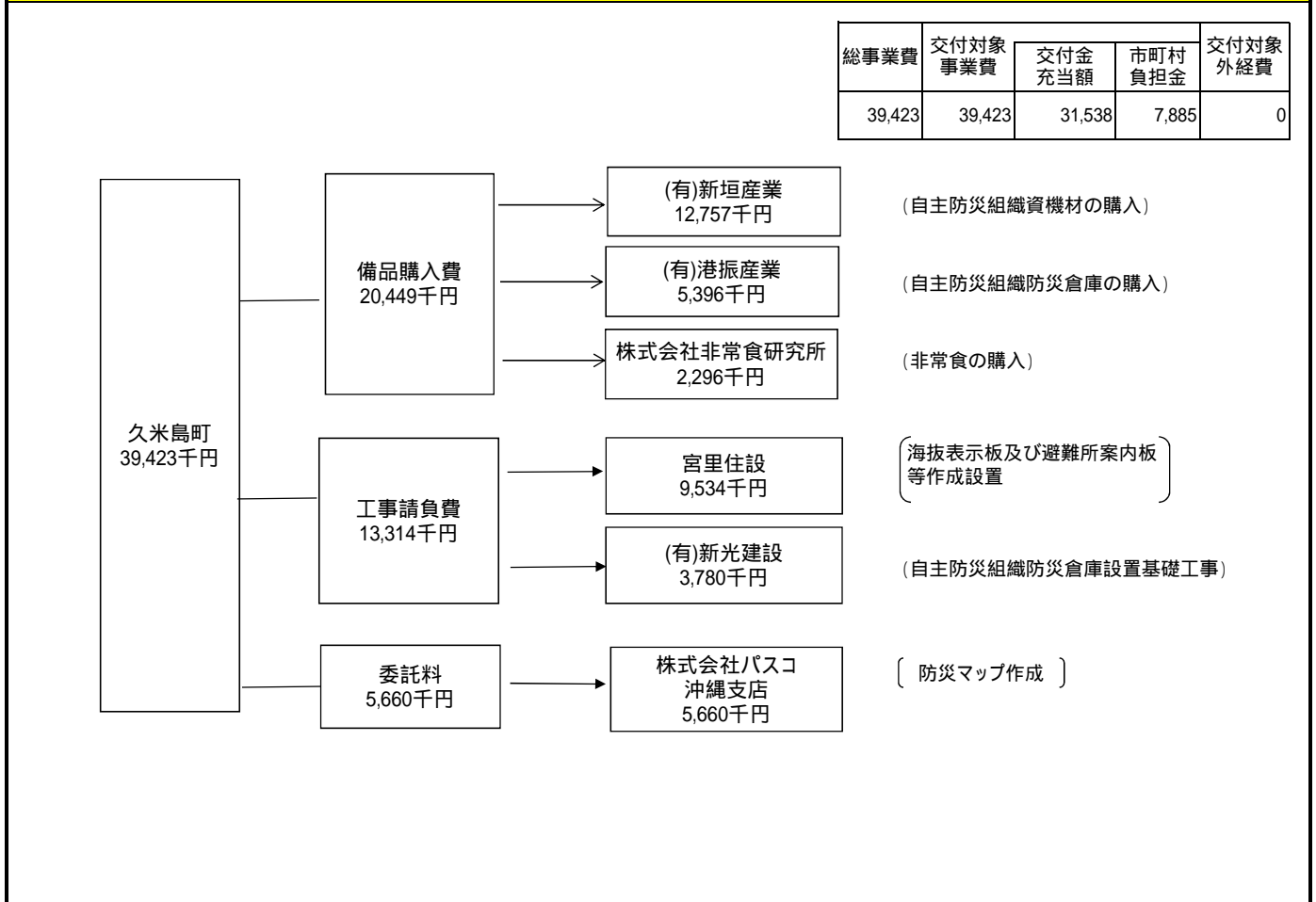
市町村名		久米島町					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4 - 防災まちづくり事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(4)-イ		
	担当部課名	総務課、消防本部		事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 -10-(2)
事業内容		安全で安心な観光地の形成を図るため、台風襲来等の災害時の避難経路や避難所等を表示した防災マップの作成、避難所に必要な毛布等及び自主防災の活動に必要な資機材を配備した。					
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	40,556	-			
		(b)予算現額	40,556	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	-	25,503			
	A.計(b+d)		40,556	25,503			
	B.執行済額		15,053	24,370			
	うち交付金充当額		12,042	19,496			
	次年度繰越額		25,503	-			
	執行率(%) (B/A)		37.1%	95.6%			
予算の状況の説明		・地域防災計画の見直し作業に遅れが生じたため、25,503千円を次年度に繰り越した。 ・不用額1,133千円は、入札残によるものである。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	自主防災組織資機材設置	目標	(6ヶ所)	()	()	()	
		実績	6ヶ所				
	避難場所案内看板設置	目標	(避難場所案内看板設置)	()	()	()	
		実績	避難場所案内看板設置				
	防災マップ作成	目標	(8000部)	()	()	()	
		実績	8000部				
	備蓄用非常食料の購入	目標	(備蓄用非常食料の購入)	()	()	()	
		実績	備蓄用非常食料の購入				
達成状況説明	自主防災組織資機材設置(小学校区6ヶ所に防災倉庫を設置し、防災資機材を導入した) 避難場所案内看板設置(海拔表示板100箇所、災害時避難所表示板44箇所、津波一時避難所案内板17カ所設置した) 防災マップ作成(防災マップ8000部を作成した) 備蓄用非常食料の購入(調理不要食7000食を購入した)						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	自主防災組織資機材設置	目標	()	(6ヶ所)	()	()	()
		実績		6ヶ所			
	避難場所案内看板設置	目標	()	(避難場所案内看板設置)	()	()	()
		実績		避難場所案内看板設置			
	防災マップ作成	目標	()	(8000部)	()	()	()
		実績		8000部			
	備蓄用非常食料の購入	目標	()	(備蓄用非常食料の購入)	()	()	()
		実績		備蓄用非常食料の購入			
	進捗状況説明	災害活動時に必要な資機材の設置・購入、避難所案内看板や海拔表示を設置したことにより、安心安全な観光地づくりにつながった。					

	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 資機材は地域住民が使用、操作できるよう訓練をする必要である。 防災マップを有効に活用できるように町民をはじめ観光客へ周知する必要がある。 備蓄用非常食料は賞味期限の管理を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各地区で防災資機材の説明及び取扱訓練を実施する。 避難場所案内看板を活用した避難訓練が必要である。 町民をはじめ観光客の周知方法は、町広報誌、FMラジオなどを活用して周知を図る必要がある。

今後の取り組み方針

- 定期的な防災資機材の取扱訓練を実施し、地域防災力の向上と防災意識の高揚を図る。
- 全住民が災害時の避難がスムーズに行えるよう多様な想定訓練が必要である。
- 防災対策の徹底と危険区域等の把握及び自主防災の意識を高める取組みを行う必要がある。
- 非常食料は8000食を備蓄目標としており、賞味期限が切れる前に随時補充していく必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目 ・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	備品購入業者、委託事業者及び工事業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 非常食購入は特殊な品物であるため随意契約とした。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		久米島町					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4 - ヤジャーガマ整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(12)-ア		
	担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(1)	
事業内容	本町唯一の鍾乳洞であるヤジャーガマを観光施設としての利活用を促進するため、自然環境や生息する動植物に配慮した自然体験施設として整備した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	5,148	-			
		(b)予算現額	5,148	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	-	5,148			
		A.計(b+d)	5,148	5,148			
	B.執行済額		0	4,882			
	うち交付金充当額		0	3,906			
	次年度繰越額		5,148	-			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	94.8%			
予算の状況の説明		・整備方法に関して関係機関との調整に不測の時間を要したため、委託料に係る5,148千円を次年度に繰り越した。 ・不用額が266千円発生しているが、委託料の入札残によるものである。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	自然体験施設の実施設計 (取付道路、駐車場、進入階段、遊歩道整備に係る測量設計)	目標	(測量設計の実施)	()	()	()	
		実績	測量設計の実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	工事を執行する為に必要となる駐車場、進入階段、遊歩道整備等の測量設計を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	自然体験施設の実施設計	目標	()	(測量設計の実施)	()	()	()
		実績		測量設計の実施			
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	・H24年度において設計書が作成できたので、次年度では継続して工事を実施する。					

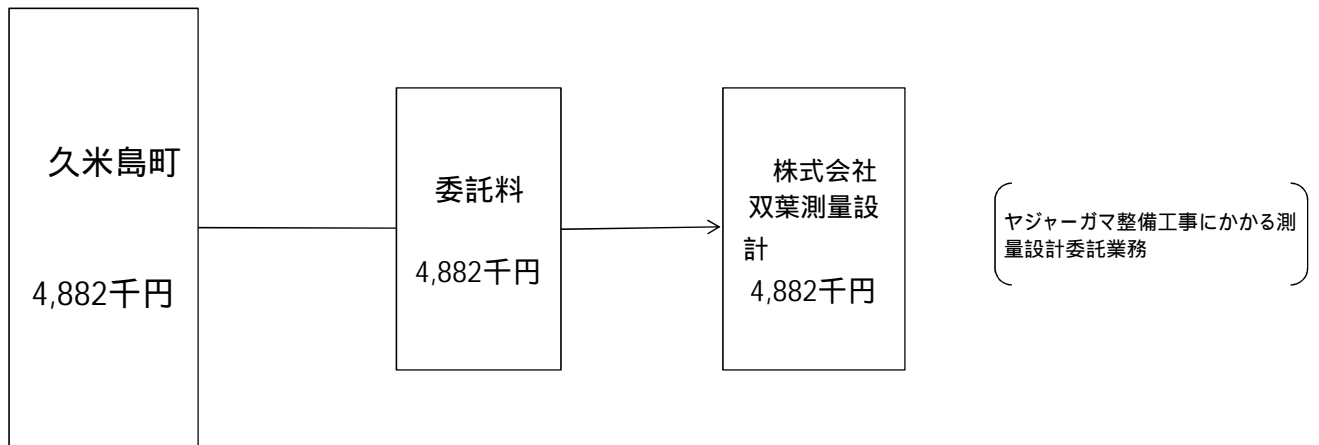
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	観光客の利活用や自然環境に配慮し、鍾乳洞周辺内の環境と調和した擬木階段・木道・案内板の設置、自然道に近い歩道・石階段設置についての実施設計を作成した。	当初計画のとおり、自然環境や生息する動植物に配慮した自然体験施設として整備する為、構造物の設置に対しては、利用者の安全性を確保する為のものに留めている。鍾乳洞周辺の形状を変更することは望ましくないので、これ以上の整備は行わない。

今後の取り組み方針

利便性、安全性が確保できたので、自然体験プログラム(修学旅行)や洞窟体験ツアー(観光客)など、利活用の向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,882	4,882	3,906	976	0



資金の流 れ、費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

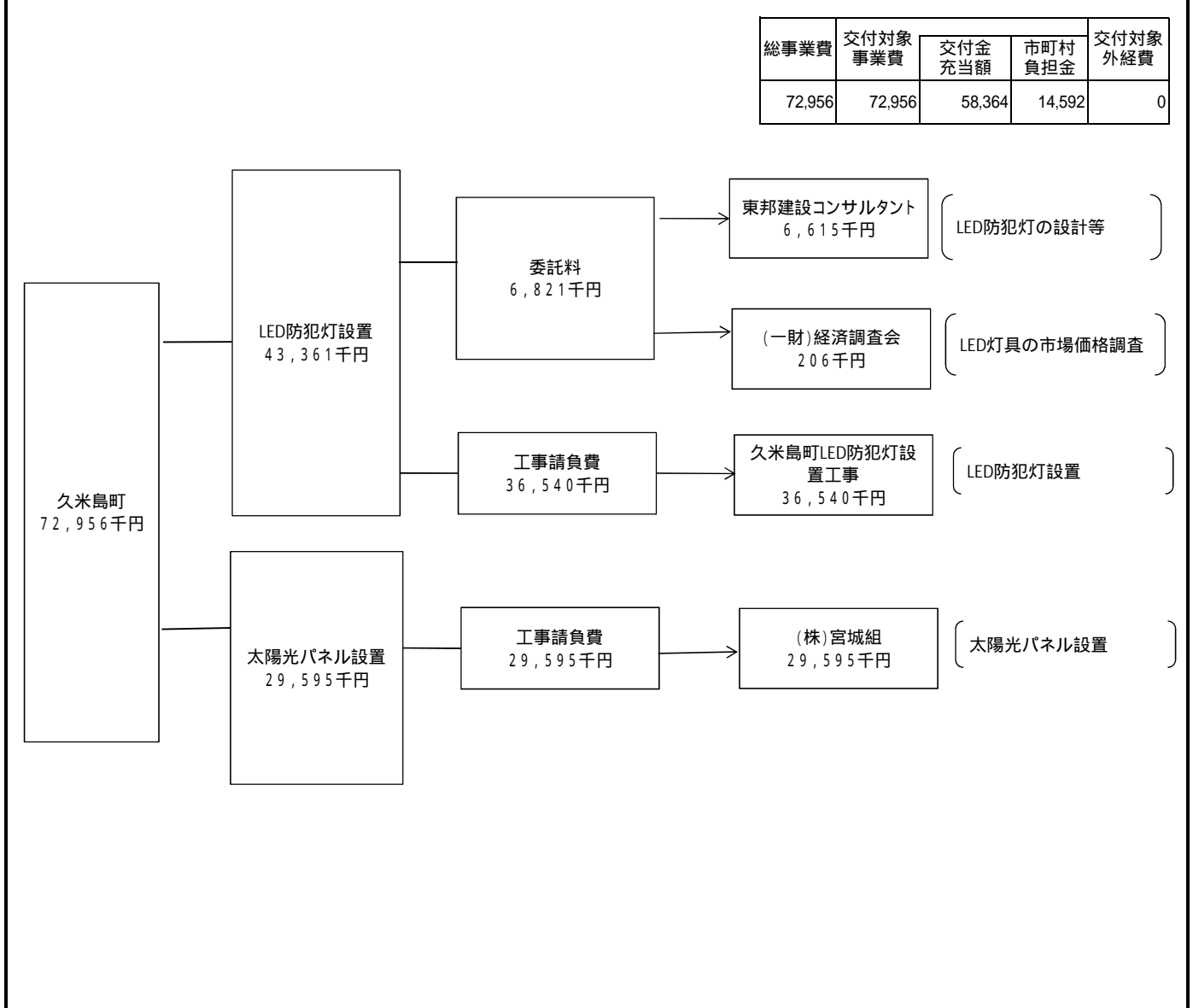
市町村名		久米島町					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5 - 球美の島エコアイランド化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-ア		
	担当部課名	建設課、産業振興課		事業実施(予定)年度	平成24~28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地球温暖化防止対策の推進 -11-(3)
事業内容	低炭素島しょ社会の実現と自然豊かな環境に配慮した島づくりの推進を図るため、町内に設置されている水銀街灯のLED化事業等を実施した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	73,479	-			
		(b)予算現額	73,479	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	-	66,864			
	A.計(b+d)		73,479	66,864			
	B.執行済額		6,615	66,341			
	うち交付金充当額		5,292	53,072			
	次年度繰越額		66,864	-			
	執行率(%) (B/A)		9.0%	99.2%			
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> ・機種を選定及び仕様書作成に不測の日数を要したため、工事に係る66,864千円を次年度に繰り越した。 ・不用額が523千円発生しているが入札残によるものである。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・LED化基本調査(委託・工事)	目標	(委託・工事)	()	()	()	
		実績	委託・工事				
	太陽光発電システムの設置	目標	(太陽光パネルの設置)	()	()	()	
実績		太陽光パネルの設置					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度中に久米島町内の既設水銀灯現況調査・設計を行い、水銀灯約1650本のうち、310本をLED灯に移行した。 ・バーデハウス久米島に太陽光パネルを設置した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	LED化基本調査(委託・工事)	目標	()	(委託・工事)	()	()	()
		実績		委託・工事			
	太陽光発電システムの設置	目標	()	(太陽光パネル設置)	()	()	()
		実績		太陽光パネルの設置			
進捗状況説明	・当初計画とおりの目標を達成できたと共に消費電力の削減及びCO2の低減が図られた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> LED灯は設置ヶ所確定作業に時間を要したが、地域の要望に応えることができた。 観光施設での太陽光パネルの設置であったため、周辺の景観に配慮した設置方法とした。 	<ul style="list-style-type: none"> LED灯への移行を計画的に実施し消費電力の削減及びCO2削減を図る。 他の公共施設に自然エネルギー活用ができないか検討する必要がある。

今後の取り組み方針

- 引き続き水銀灯からLED灯へ早期移行を行いCO2削減を推進する。
- 自然エネルギーを活用した施設整備を計画的に取り組む必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者・施工業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

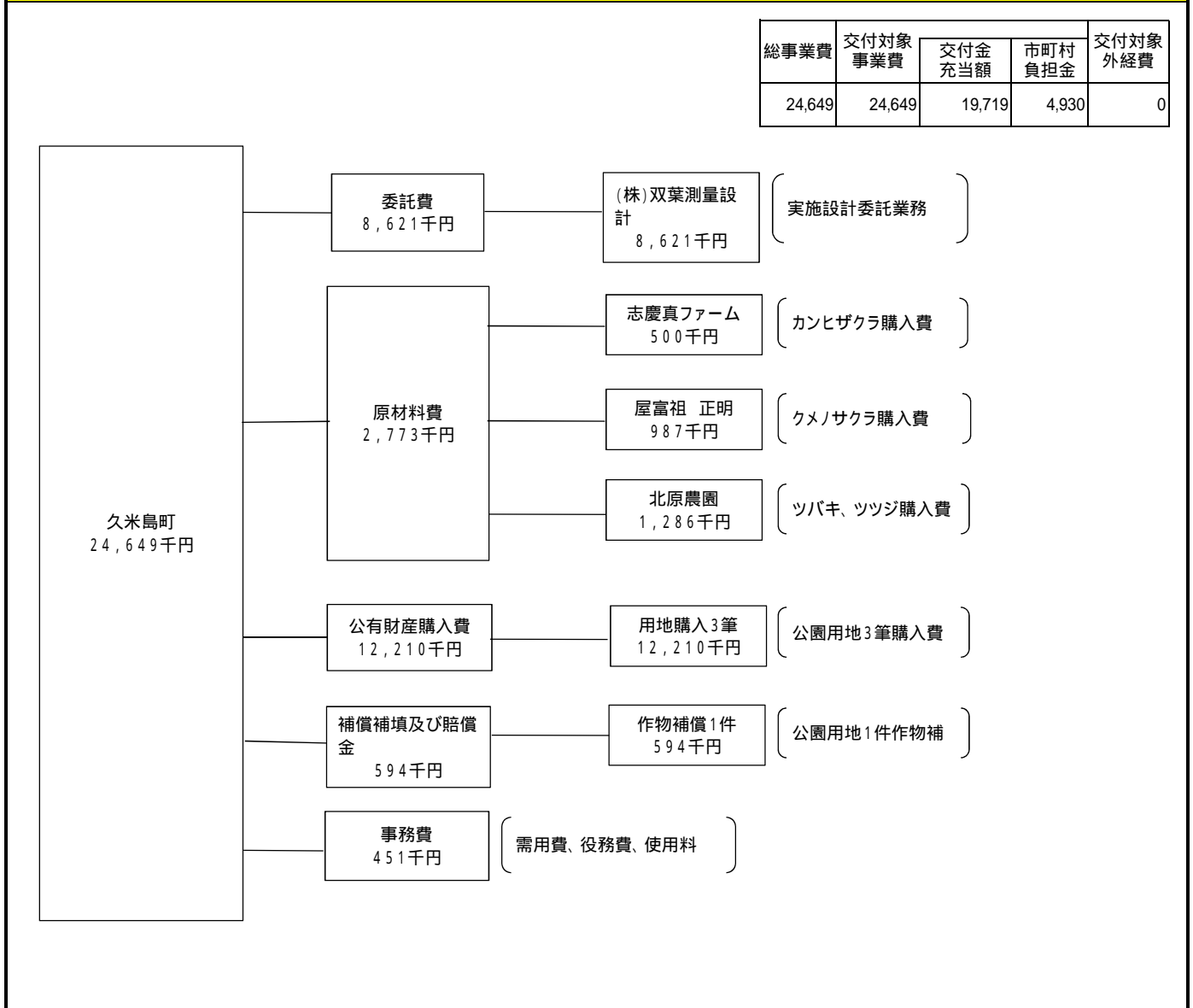
市町村名		久米島町					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5 - 球美の島緑化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-イ		
担当部課名	環境保全課	事業実施(予定)年度	平成24~26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	陸域・水辺環境の保全 -10-(1)		
事業内容	久米島に自生している花や花木(クメノサクラ、ツツジ、椿、ショウキズイセン等)の保全を図るために、島の在来花木を年中楽しむことができる公園整備を実施した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	56,353	-			
		(b)予算現額	56,353	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	-	44,765			
	A.計(b+d)		56,353	44,765			
	B.執行済額		11,588	13,061			
	うち交付金充当額		9,270	10,449			
	次年度繰越額		44,765	-			
	執行率(%) (B/A)		20.6%	29.2%			
予算の状況の説明		・用地取得に不測の日数を要したため、用地取得費及び工事費に係る44,765千円を次年度に繰り越した。 ・不要額が31,704千円発生しているが、用地取得が遅れたことにより工事の適正工期が確保できなかったため、工事費を次年度の取組としたことによる減である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	緑化推進公園実施設計(実施設計業務)	目標	(実施設計)	()	()	()	
		実績	実施設計				
	緑化推進公園用地購入(用地購入 3筆)	目標	(用地購入 3筆)	()	()	()	
		実績	用地購入 3筆				
達成状況説明	公園の実施設計及び用地取得、花木購入を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	緑化推進公園実施設計(実施設計業務)	目標	()	(実施設計)	()	()	()
		実績		実施設計			
	緑化推進公園用地購入(用地購入 3筆)	目標	()	(用地購入3筆)	()	()	()
		実績		用地購入3筆			
	進捗状況説明	実施設計、用地購入、花木購入ともに計画通り完了した。工事には取り組むことができなかったが、次年度以降計画的に実施する。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	整備に当たっては、自然環境に配慮した取組を行った。	町民や観光客が島の在来花木を年中楽しむことができる公園整備を行う必要がある。

今後の取り組み方針

久米島に自生している花や花木(クメノサクラ、ツツジ、椿、ショウキズイセン等)の保全を図るために、島の在来花木を年中楽しむことができる公園整備を行う必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 久米島町

平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6 - 久米島現代版組踊り創作事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24~26年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	-3-(2)

事業内容 若い世代の地域づくりへの積極的な参画を促進し魅力ある舞台発表ため、久米島の歴史的遺産にスポットをあてた現代版組踊り創作の脚本を制作した。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a)当初予算額	2,088	-			
	(b)予算現額	2,088	-			
	(c)増減額(b-a)	0	-			
	(d)繰越額	-	2,088			
	A.計(b+d)	2,088	2,088			
	B.執行済額	0	2,016			
	うち交付金充当額	0	1,612			
	次年度繰越額	2,088	-			
	執行率(%) (B/A)	0.0%	96.6%			
	予算の状況の説明	・日本作成に必要な歴史的資料の収集、聞き取り調査に時間を要したため、委託料に係る2,088千円を次年度に繰り越した。 ・不要額が72千円発生しているが、入札残による委託費の減である。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

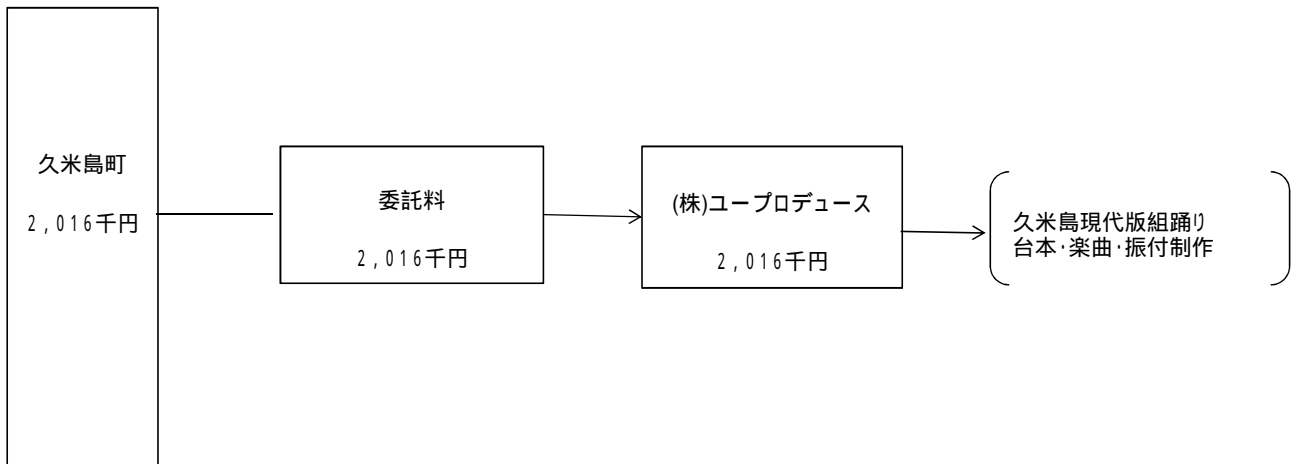
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		組踊り脚本の制作	目標 (脚本製作)	()	()	()
	実績	脚本制作				
	目標 ()	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	・平成25年度の久米島現代版組踊り公演に向けた、台本・楽曲(2曲)・振付(2曲)の制作を行った。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		組踊り脚本の制作	目標 ()	(脚本製作)	()	()
		実績		脚本制作		
	【参考指標】	目標 ()	()	()	()	()
		実績				
進捗状況説明	・楽曲(2曲)については台本の「月光の按司 笠末若茶良」のイメージに沿った久米島的な曲が作成できた。 ・振付(2曲)も台本、曲にあった躍動感あふれるものに仕上がった。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・久米島の歴史的資料の収集、聞き取り調査を行うため時間はかかったがイメージ通りの台本、楽曲、振付ができた。	・平成25年度の久米島現代版組踊り公演に向けた役者メンバー(中高校生)の確保に取り組む必要がある。 ・組踊りの練習場所を確保する必要がある。
	今後の取り組み方針	
・平成25年度の久米島現代版組踊り公演に向けた役者メンバーの確保に取り組む必要がある。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
2,016	2,016	1,612	404	0



資金の 用途の流れ、 点検項目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費用・用途については、事業目的達成の観点から必要なものであり適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	